## 特別活動の指導計 画

本 年 度  $\mathcal{O}$ 具 体 的 目

## よりよい生活や人間関係を築こうとする児童の育成を目指す特別活動の推進

- 特別活動の目標及び各活動・学校行事の目標を踏まえ、各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の 時間などの指導との関連を図る。また、北九州市対人スキルアッププログラムを活用する。
- 特別活動の全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画の作成に当たっては、小中連携の活動を含め、 学校の創意工夫を生かすようにする。その際、学級や学校の実態や児童の発達の段階などを考慮し、児童 による自主的、実践的な活動が助長されるようにする。また、事前の活動、事後の活動を充実させるよう にする。
- 話合い活動においては、可視化・操作化・構造化を取り入れ、児童の思考を支援する。
- 家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫する。

評 価  $\mathcal{O}$ 観 点

学

級

活

動

 $\mathcal{O}$ 

重

点

標

- 各活動・学校行事の評価にあたっては、指導と評価の体制を確立し、学校全体で組織的に取り組むこと で、児童が活動意欲を高めることができるようにする。
- 児童会活動やクラブ活動、学校行事の評価に当たっては、児童の姿を学級担任以外の教師とも共通理解 を図って、適切に評価できるようにする。
  - ・集団活動や生活への関心・意欲・態度
  - ・集団の一員としての思考・判断・実践
  - ・集団活動や生活についての知識・理解

(1) 学級や学校の生活づくり

- 学級の生活上の共同の問題を取り上げ、学級会を 児童に共通する身近な問題を取り上げ、 話合い 通して、折り合いを付けたり、集団決定したことを みんなで実践したりすることの大切さが実感でき るようにするとともに、充実した楽しい学級や学校 の生活が送ることができるようにする。
- ・学校や学校における生活上の諸問題の解決
- ・学級内の組織づくりや仕事の分担処理
- ・学校における多様な集団の生活の向上

(2) 日常の生活や学習への適応及び 健康安全

- を通してその原因や対処の方法などについて考え、 自己の問題の解決方法などについて自己決定し、継 続して実践できるようにする。
- ・希望や目標をもって生きる態度の形成
- ・基本的な生活習慣の形成
- ・望ましい人間関係の形成
- ・清掃など当番活動等の役割と働くことの意義の理解
- ・学校図書館の利用
- ・心身ともに健康で安全な生活態度の形成
- ・食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の

児 童 会

活

動

 $\mathcal{O}$ 

重

- 学校の一員としての所属感や連帯感を深めるなどの指導のねらいを明確にする。
- 門司海青小学校の実態を踏まえ、年間を通じて活動に必要な場や機会を計画的に確保する。
- 教師の適切な指導の下に、特に学級活動との関連を図りながら、学校生活の充実、向上を目指す児童の 自発的、自治的な活動として展開できるようにする。
  - ・児童会の計画や運営
  - ・異年齢集団による交流
  - ・学校行事への協力

点 ク

- 共通の興味・関心を追求する集団活動を通して、自主的、実践的な態度を育て、個性の伸長を図る。
- 異年齢集団の特質を生かし、よりよい人間関係を築くことができるようにする。

○ 月一回以上、年間15単位時間の実施を目指して継続的に実施し、教師の適切な指導の下に、「クラブの 計画や運営」「クラブを楽しむ活動」「クラブの成果の発表」に関する活動が、児童の自発的、自治的な 活動として展開できるようにする。

ラ ブ

活 動  $\mathcal{O}$ 

重 点